

平成17年(2005年)4月21日 (木曜日)

鈴木院長(左)から自動体外式除細動器の操作を学ぶ早川市長(右)豊橋市役所内



除細動器を寄付

豊橋市に澄心会

医療法人澄心会豊橋八

ートセンター(豊橋市大山町、鈴木孝彦院長)は二十日、自動体外式除細動器(AED)十三台を

豊橋市に寄贈した。

循環器医療専門施設の同センターが「病院前救護を充実させ、市民の命を守ろう」と、初期治療の重要性を目指して贈った。AEDは、心停止の初期段階で起きる心室細動を電気ショックで取り除き、正常な心臓の働きを促す救急救命機器。

この日、目録を持って市役所を訪れた鈴木院長に早川勝市長が感謝状を手渡した後、鈴木院長の指導で早川市長がAEDの操作を体験した。市で

は市役所や豊橋総合動植物公園、中央図書館などに機器を配置して効果的な活用を期している。